2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3823003	学校図書館概論 Introduction to School Librarianship	有山 裕美子	✔	専門	2	選択	1前期

科目の概要

本科目は、学校教育活動における学校図書館の理念と使命、および教育課程と学校図書館の関係について学ぶことにより、学校図書館の効果的な運営、学校図書館の将来像など学校図書館全般について基礎的な理解を図ることを目的とする。これはディプリマポリシーの②と③に相当する。また、学校図書館を支える法的根拠や学習指導要領との関わりなど、学校図書館運営に必要な知識についても押さえる。さらに現場で使えるような実践的な学校図書館の学習活動への支援のあり方、また学校担当者の任務と役割を理解できるような実践的な活動も取り入れる。これらは、ディプロマポリシーの⑤に相当する。
★司書教諭・学校司書として学校図書館の管理・運営に努めた経験を生かし、学校図書館が学習を支援するためにはどのような学校図書館をつくればよいか、学校図書館専門職としての基礎的な知識・技能を修得できる講義内容とする。

学修内容	到達目標
① 学校図書館の理念と教育的意義を知る。 ② 学校図書館に関する教育行政の変遷を理解する。 ③ 学校経営において学校図書館の重要性を認識する。 ④ 学校図書館の管理・運営の実際を知る。 ⑤ 学校図書館の施設・設備の実際を知る。 ⑥ 学校図書館専門職の職務分担について考察する。 ⑦ 学校図書館メディアについて知る。 ⑧ 学校図書館の読書や学習支援活動を知る。 ⑨ 学校図書館の相互協力とネットワークについて考察する。 ⑩ 学校図書館のあるべき姿を考察する。	① 学校図書館は学校教育においてどのような設備であるか述べることができる。② ② 学校図書館に関する教育行政の変遷を施策の例を挙げて説明することができる。② ③ 学校組織図の中で学校図書館がどの位置にあるべきか説明することができる。③ ④ 学校図書館の管理・運営上何が必要か説明することができる。③ ⑤ 学校図書館の施設・設備について必要なものは何か説明することができる。③ ⑥ 学校図書館における学校司書や司書教諭をふくむ職務分担について説明することができる。③ ⑦ 学校図書館メディアの種類やその特徴について説明することができる。③ ⑧ 学校図書館の3つのセンター機能を活用した学習支援のありかたについて説明することができる。⑤ ⑨ 学校図書館や他の機関との協力・連携について説明することができる。⑤ ⑩ 理想的な学校図書館像を示すことができる。⑤

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	主体的に講義に参加し、意見を述べたり、質問したりすることができる。課題のために必要な知識について、教科書・文献等を使って自己学習することができる。
	働きかけ力	
	実行力	実習時や課題が出されたとき、しっかり取り組み、手順や方法を考えながら決められた時間の中で確実にやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	講義やデスカッションの中で、何が課題になっているかを見極め、それらを解決するためにはどうすればよいか考えながら取り組むことができる。
	計画力	
	創造力	意見発表や成果物作成等において、自ら考え、創造的にまとめることができる。
チームで働く力	発信力	発表時、聞き取りやすい声の大きさ、スピードに気を付け、的確に伝えることができる。
	傾聴力	講義のときやグループディスカッションのとき、メモを取ったり、相手をよくみて頷くなど豊かに反応しながら聞くことができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席せず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『図書館情報学基礎資料 第４版』今 まど子・小山 憲司　編著　樹村房　２０２０年　１１００円
参考文献：『学校経営と学校図書館』「探究　学校図書館学」編集委員会　編著　全国学校図書館協議会　2019年　2200円
その他、講義内で指示する。

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連：図書館に関する科目全て。
関連する資格：学校司書

学修上の助言	受講生とのルール
・講義内で紹介した法規、ニュース等には積極的にアクセスし、常に最新の情報を取り入れることを心がけること。 ・子どもの本や学びについて興味・関心を持ち、積極的に読んだり、学んだりすること。 ・大学図書館や公共図書館を積極的に利用し、その利活用について関心を持つこと。 ・講義毎に資料等を読み直し、学習内容を振り返り、まとめておくこと。	・講義毎に振り返りシートの作成を課す。振り返りシートは、Googleclassroomでの提出を原則とする。しっかりまとめてから、次回の講義に臨むこと。 ・振り返りシートは講義内でフィードバックを行う。 ・講義内でパソコンを使用するときは事前に指示する。 ・６回以上の欠席は０（放棄）判定とする。 ・欠席の場合は、理由を必ず届けること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	30	①	✓	⑥	✓	評価ポイント ・学校図書館が学校教育において果たす役割について説明できる。 ・学校図書館に関する法規や教育行政について説明できる。 ・学校経営における学校図書館の位置付けや機能について説明できる。 ・学校図書館の管理、運営において何が必要か、施設、設備、人材等も含めて説明できる。 ・学校図書館に必要なメディアについて説明できる。 ・学校図書館の３つの機能について理解できている。 ・学校図書館と他機関との連携について理解できている。 ・学校図書館のあるべき姿について理解できている。
				②	✓	⑦	✓	
				③	✓	⑧	✓	
				④	✓	⑨	✓	
				⑤	✓	⑩	✓	
	平常評価	小テスト	0	①		⑥		
				②		⑦		
				③		⑧		
				④		⑨		
				⑤		⑩		
		レポート	42	①	✓	⑥	✓	講義毎に振り返りシートの作成を課す。（３点✖14回） 各回毎の評価ポイント ①学校図書館の教育的意義についてまとめている。 ②学校図書館の持つ理念と使命についてまとめている。 ③学校図書館法についてまとめている。 ④学習指導要領の変遷と現行学習指導要領における、学校図書館の位置付けをまとめている。 ⑤カリキュラムマネジメントと学校図書館の関わりについて自分なりの考えを持っている。 ⑥自分自身の学校図書館体験と学校図書館経営を結びつけて考えることができている。 ⑦学校司書の役割についてまとめている。 ⑧学校図書館に必要な施設・設備についてまとめている。 ⑨学校図書館年間計画の必要性についてまとめている。 ⑩学校図書館メディアの種類とその活用方法についてまとめている。 ⑪学校図書館の読書センターとしての機能をまとめている。 ⑫学校図書館の学習センターとしての機能をまとめている。 ⑬学校図書館の情報センターとしての機能をまとめている。 ⑭学校図書館と他機関との連携についてまとめている。
				②	✓	⑦	✓	
				③	✓	⑧	✓	
				④	✓	⑨	✓	
				⑤	✓	⑩	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	18	①	✓	⑥		プレゼンテーション（18点✖1回） 講義内で、読書活動、および探究的な活動に関するプレゼンテーションを課す。プレゼンテーションの内容は、学校図書館の役割を考えたものであるか、学校図書館の３つの機能を意識したものとなっているかで評価する。 詳細は講義内で示す。
				②		⑦		
				③		⑧	✓	
				④		⑨		
				⑤		⑩	✓	
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓	（主体性） ・主体的に講義に参加し、意見を述べたり、質問したりすることができる。課題のために必要な知識について、教科書・文献等を使って自己学習することができる。 （実行力） ・習時や課題が出されたとき、しっかり取り組み、手順や方法を考えながら決められた時間の中で確実にやり遂げることができる。 （課題発見力） ・講義やデスカッションの中で、何が課題になっているかを見極め、それらを解決するためにはどうすればよいか考えながら取り組むことができる。 （創造力） ・意見発表や成果物作成等において、自ら考え、創造的にまとめることができる。 （発信力） ・発表時、聞き取りやすい声の大きさ、話すスピードに気を付け、的確に伝えることができる。 （傾聴力） ・講義のときやグループディスカッションのとき、相手をよくみて頷いたり、メモをとるなどして、反応をしながら聞くことができる。。 （規律性） ・遅刻・無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出する。
				②	✓	⑦	✓	
				③	✓	⑧	✓	
				④	✓	⑨	✓	
				⑤	✓	⑩	✓	
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（秀）評価 ① 主体的に講義に参加するとともに、毎回の振り返りシートで９割以上達成できている。 ② 学期末試験では問われている内容を把握し、ポイントを押さえて９割以上答えることができている。 ③成果発表で９割以上達成できている。 ④社会人基礎力にある学修態度が９割以上達成できている。 A（優）評価 ① 主体的に講義に参加するとともに、毎回の振り返りシートで８割以上達成できている。 ② 学期末試験では問われている内容を把握し、ポイントを押さえて８割以上答えることができている。 ③成果発表で８割以上達成できている。 ④社会人基礎力にある学修態度が８割以上達成できている。	B（良）評価 ① 主体的に講義に参加するとともに、毎回の振り返りシートで７割以上達成できている。 ② 学期末試験では問われている内容を把握し、ポイントを押さえて７割以上答えることができる。 ③成果発表で７割以上達成できている。 ④社会人基礎力にある学修態度が７割以上達成できている。 C（可）評価 ① 主体的に講義に参加するとともに、毎回の振り返りシートで６割以上達成できている。 ② 学期末試験では問われている内容を把握し、ポイントを押さえて６割以上答えることができている。 ③成果発表で６割以上達成できている。 ④社会人基礎力にある学修態度が６割以上達成できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	学校教育の理念と学校図書館（オリエンテーション） 現代社会における課題と学校図書館の役割について知る。学校図書館に関する国内外の宣言や憲章等を参考にしながら、その教育的意義を理解する。講義の内容や評価方法を知り、講義に対する見通しを持つ。	講義 Google classroomを活用して資料等を配布する。	学校図書館が持つ、教育的意義について知る。	（復習）講義内で提示された資料を読み直すとともに、自分自身の学校図書館体験を振り返り、改めて学校図書館の役割を考える。振り返りシートの提出は、Googleクラスルームの活用を予定。	180	主体性 課題発見力 規律性
2	学校図書館の理念と学校図書館法 学校図書館の歴史的展開や現状を知るとともに、学校図書館の理念と使命について学ぶ。学校図書館法の制定と学校図書館の現代化、そしてその課題について整理する。	講義／ディスカッション	学校図書館の歴史的展開や現状について知り、学校図書館の理念と使命について知る。	（復習）学校図書館の理念と使命についてまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	学校図書館をめぐる法体系 学校図書館をめぐる法体系について、系統的に理解するとともに、学校図書館法の目的と内容について学ぶ。	講義／ディスカッション	学校図書館をめぐる法体系について系統的に理解するとともに、学校図書館法の内容について説明できる。	（復習）学校図書館法について、その内容についてまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	学習指導要領の変遷と学校図書館 学校の教育課程をめぐる法制度を知るとともに、戦後日本における学習指導要領の変遷と学校図書館との関わりについて学ぶ。	講義／ディスカッション	学習指導要領の変遷と、現行学習指導要領について概観を捉えることができる。	（復習）学習指導要領の変遷と現行学習指導要領のポイントについてまとめる。 （予習）現行学習指導要領について、学校図書館および情報活用能力育成の部分に関わる部分について読んでおく。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	教育課程と「カリキュラムマネジメント」 教育課程とは何か、また、現行学習指導要領における「カリキュラムマネジメント」について学ぶとともに、学校図書館の役割について知る。	講義／ディスカッション	教育課程と学校図書館の関わりについて知る。	（復習）カリキュラムマネジメントと学校図書館の関わりについて、自分なりの展望を持ち、まとめる。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	学校経営と学校図書館 学校図書館経営とは何かについて知り、学校図書館経営の過程と内容について学ぶ。	講義／ディスカッション	学校経営と学校図書館の関わりについて知る。	（復習）講義の内容を受けて、自身の学校図書館体験を思い出し、学校図書館経営のあり方についてまとめておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	学校図書館担当者の役割と任務、および研修 学校図書館担当者の役割と任務について知るとともに、学校図書館活動の評価と改善について学ぶ。また、学校図書館を軸にした、校内研修等のあり方について学ぶ。	講義／デスカッション	学校司書、司書教諭をはじめ、校内の学校図書館関係者の役割について知る。	（復習）学校司書の役割について復習し、まとめる。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
8	学校図書館の施設・設備　バリアフリー 学校図書館における基準・規則を参考に、学校図書館の必要な施設、設備について学ぶ。学校図書館におけるバリアフリーについて知る。	講義／ディスカッション	学校図書館に必要な施設・設備について知る。	（復習）学校図書館に必要な施設・設備について、講義を振り返りまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	学校図書館の効果的な運営と管理 学校図書館の効果的な運営について考えるとともに、その管理について学ぶ。年間指導計画の作成方法や広報活動について学ぶ。	講義／デスカッション／演習	学校図書館には、効果的な運営方法が必要であることを知る。	（復習）学校図書館年間指導計画について、自分なりに見通しを持ち、可能な範囲で作成を試みる。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	学校図書館メディア 学校図書館メディアの種類や収集、整理および、その提供方法について知る。	講義／演習	学校図書館目メディアの種類とその活用方法について知る。	（復習）学校図書館メディアの種類やその活用方法について、講義を振り返りまとめる。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
11	学校図書館と読書活動 子どもの読書推進に関する法律等を中心に、学校図書館における読書活動について学ぶ。	講義／演習	学校図書館における、読書センターとしての機能について知る。	（復習）さまざまな読書活動やイベントについて振り返り、自分ができそうな活動についてまとめる。	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性
12	学校図書館の授業および探究的学習への支援 学校図書館の教科・授業への支援への支援や、探究的学びを支える活動について学ぶ。	講義／ディスカッション	学校図書館の「学習センター」としての機能について知る。	（復習）講義の内容を受けて、学習センターとして、学校図書館は何ができるかまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13	学校図書館の情報教育および特別活動等への支援 特別な支援を必要とする児童生徒への支援について学ぶ。	講義／演習／インターネットの活用	学校図書館の「情報センター」としての役割について知る。	（復習）講義中に紹介したインターネット情報等に再度アクセスし、体験する。講義の内容を受けて「情報センター」として学校図書館は何ができるかまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
14	公共図書館、博物館、公民館等との連携・協力、および学校図書館支援システムの構築について学ぶ。	講義／ディスカッション	学校図書館と他機関との連携について理解する。	（復習）講義の内容を受けて、学校図書館と他機関との連携についてまとめる。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	学校図書館の将来像およびまとめ 学習図書館の理念、および学習指導要領の内容にたちかえり、これからの学校図書館について展望を考える。	オンデマンド	学校図書館の将来について、展望をもち、関わろうとする姿勢を持つ。	（復習）全15回の講義を振り返り、これからの学校図書館の将来像について考える。 フィードバックのための振り返りシートは、Googleクラスルームでの提出を予定している。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力